

演題名

「畜産農家に求められる輸出条件とアメリカにおける和牛の評価」

日 時：11/4(水) 13:30～15:30

(株)フレイバー・プラザ

ORiGO DREAMS

1、求められる輸出条件

- ・ グレードの高い和牛

※A5 が条件

→ その中でも BMS10 以上

- ・ 重量、構成比の良い枝

【理想】

枝 重：530kg～650kg

芯面積：70 cm²以上



→ 約 10 年前

日本の和牛であれば良いとの見方であり、A4 においても需要があった。

しかし、日本からの輸出流通量増加や A5 発生率の向上に伴い、A5 のワードがトレンドになり、マーブリングの高い和牛が需要のベースとなった。

【コロナ以降、直近のトレンド】

A4	A5				
アメリカに おいて流通 しない	BMS				
	8	9	10	11	12

←海外に求められるグレード→

2、アメリカにおける和牛評価

- ・「Wagyu」の様々な表現

例) US Wagyu / KOBE STYLE BEEF /
New York Style Wagyu など

- ・日本の和牛評価

神戸牛、宮崎牛：圧倒的知名度

近江牛、松坂牛：知名度低

鹿児島：流通はあるが
人気が低い



・和牛の流通状況（例：スーパー）



- ・信州プレミアム牛肉
(NAGANO PREMIUM WAGYU)

→ 少しずつですが、ORiGO DREAMS を通じて浸透している。



3、流通コンセプト

私たちは生産者の皆様から購入させていただいたお肉を良質のまま鮮度を保ち、消費者にお届けすることをコンセプトに、京都食肉市場にて加工された商品を空輸にてアメリカに向け輸出をしています。